

# 「中標津町のパートナーシップ調査」 町民アンケート集計結果



平成 20 年 3 月

# 目 次

## 概 要

調査の概要・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 2

結果の概要・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 3

## 「中標津町のパートナーシップ調査」比較集計結果

信頼について・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 5

つきあいや交流について・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 6

地域活動への参加について・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 9

課題解決のための地域活動への参加について・・・・・・・・ 15

行政への参加について・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 16

## パートナーシップ推進研究会について

「パートナーシップで進めるまちづくり」町民会議について・・・・ 19

中標津町全般について・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 20

属性について・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 21

「パートナーシップで進めるまちづくり」に関する意見・要望・・ 23

# 調査の概要

## 調査の目的

中標津町「パートナーシップで進めるまちづくり」事業の一環として、中標津町民における「パートナーシップに対する意識」と「パートナーシップの現状」がどのようなものであるかを知り、今後の中標津町における「パートナーシップで進めるまちづくり」の基礎資料として活用することを目的として実施しました。

また、このアンケートは北海道の「地域力形成実践事業」の一環としての、地域力の実態を調査し、道内の地域活性化を検討する資料として活用することも合わせての目的としました。

## 調査内容

信頼について

つきあいや交流について

地域活動への参加について

課題解決のための地域活動への参加について

行政への参加について

【平成19年度】中標津町パートナーシップ推進研究会について

【平成18年度】中標津町「パートナーシップで進めるまちづくり」町民会議について  
中標津町全般について

## 調査対象

中標津町に在住する18歳以上の男女から、無作為に男性250人、女性250人を抽出。合計で500人を対象に実施した。

## 調査実施期間

【平成19年度】平成20年 2月18日 ~ 平成20年 2月29日

【平成18年度】平成18年 9月25日 ~ 平成18年10月10日

## 回収状況

	【平成19年度】	【平成18年度】
配布数	500通	500通
回収数	139通	131通
回収率	27.8%	26.2%

## その他

比率は全て百分率で表し、小数点第二位を四捨五入して算出した。

複数回答のある集計については、百分比の合計が100%にならない場合もある。

以下の文章中、百分率の差を「ポイント」と表す。

# 結 果 の 概 要

## 信頼について

ここでは、一般的に人を信頼できるか。また、旅先で出会う人に対してはどうか。について伺った。一般的に人を信頼できるか。については、「多くの方は信頼できる」また、旅先で出会う人に対しては、「半分くらいの人は信頼できる」が一番多く、伴に4割を占める割合となった。

総体的に、度合いは違うが、「信頼できる」と答えた人が8割を占め、「信用できない」と答えた人を大きく上回ったが、前年比較で「信頼できる」が3.1ポイント減少した結果となった。

## つきあいや交流について

つきあいや交流については、つきあいの程度や人数、どのような人と、どの位のつきあいがあるか。また、相談事は誰にするかを伺った。

近所つきあいの程度は、「日常的に立ち話をする程度のつきあい」。

近所でつきあっている人の数は、「ある程度の面識・交流がある（概ね5～19人）」。

友人・知人とのつきあいは、「ある程度頻繁にある（週に1回～月に数回程度）」。

親戚・親類とのつきあい。及び、職場の同僚のつきあい（職場以外で）は、「ときどきある（月に1回～年に数回程度）」。

悩みの相談は、「家族」にする。

以上、6項目について、一番多い回答が、昨年と同様の回答項目となった。なお、昨年、「つきあいが無い」と回答した人が0だった4項目について、今回調査で、少数の回答があったが、総体的には、つきあいや交流については、大きな変化は見られないと思われる。

## 地域活動への参加について

地域の活動で、最も多く参加している内容は、「地縁的な活動（自治会、町内会、婦人会など）」で、約半数の人たちが活動に参加している。次いで、スポーツ・趣味活動に参加している人が3割を占め、ボランティアやNPOや市民活動、また、その他にも項目以外の内容で活動している人がいるが、伴に昨年同様、約2割を占める結果となっている。

活動のきっかけだが、地縁的な活動に関しては、多くの回答は「町内会などの役員のため」と読み取れるが、その他、スポーツ、ボランティア活動に参加したきっかけは、意見は分かれているものの、「趣味や関心があった」が全体の約4分の1を占める結果となっている。

その活動場所は、地縁的な活動に準じて、地域にある公共施設の活用が半数以上を占め、次いで、団体の事務所や町の中心部にある公共施設となっている。

使用理由として、「集まりやすさ」や「特定の場所が決まっている」、「目的の活動がしやすい」3項目が大きな理由となっている。

また、活動に参加できない理由で一番多かったのは、「仕事が忙しい」で4分の1を占めた。

地域活動に関する情報は、どの程度入手できているかを伺ったところ、度合いは違うが「入ってくる」と回答した人は、昨年、54.0%に対し、今年は、41.5%と12.5ポイントも減った結果となった。

地域活動の情報の入手方法としては、昨年同様、「役場の印刷物」「チラシやパンフレット」「回覧板」の3項目が入手方法の大半を占めている。

平成20年2月17日（日）に開催された「中標津まちづくり交流広場」について伺ったところ、開催することを知っていた人は4割程度、うち実際に会場に足を運んだ人は、約1割を占めた。

また、行かなかった理由として、「用事があった」が、66.7%を占めた。

## 課題解決のための地域活動への参加について

地域の課題を解決するために、今後、参加したいと回答した人は、昨年、30.9%に対し、今年は、51.6%と、20.7ポイントも上昇し、町民の参加意欲が高まっている。

また、具体的にどのようなことに参加したいか伺ったところ、「高齢者や障害者への支援」14.7%を始め、保健、教育、ごみ、環境、地域経済の項目について、1割以上を占める割合となった。

さらに、まちづくりに取り組むコミュニティ活動について伺ったところ、昨年同様、「住民と行政の双方が主体となり、協働して行うべきである」が、半数以上を占め一番多かった。

## 行政への参加について

まちづくり全般に関心があるか伺ったところ、度合いは違うが「関心がある」と回答した人は、今年、55.3%と半数以上を占め、参加したいかと伺ったところ、約4分の1の人は「参加したい」と回答した。しかし、「どちらとも言えない」人が、昨年同様、半数以上を占め決めかねている。

まちづくり全般に対する情報入手方法は、半数以上が「町の広報紙」から、また、「新聞・雑誌」「回覧板」などは1割程度の人が活用している結果となった。

また、町が情報提供する内容について分かりやすいか伺ったところ、度合いは違うが、「分かりやすい」と回答した人が、昨年同様、4割を占めた。

総体的に、各項目多少の率の変動はあるものの、大きな変化は見られないと思われる。

### 【平成19年度】中標津町パートナーシップ推進研究会について

### 【平成18年度】中標津町「パートナーシップで進めるまちづくり」町民会議について

昨年の「町民会議」の認知度は43.0%に対して、「推進研究会」の認知度は31.1%と、11.9ポイントの減少となった。

これは、全町的に公募を行って55名で設置した「町民会議」に対し、広く公募するのではなく「町民会議」OB5名と、町職員5名で設置された「推進研究会」の委員選出に違いがあるのと、「町民会議」では、パートナーシップで進めるまちづくりに対して、広く住民に意見を求めるなど、周知する機会が多かったのに対して、「推進研究会」では、前身の「町民会議」からの提言内容を検討・検証し、具体的に事業化へ向けての調整などを行う。

このように、活動内容の違いがあるためと思われる。

また、パートナーシップで進めるまちづくり関連事業への参加については、昨年同様、約15%の人が「参加したい」と答えたのに対して、「どちらとも言えない」の回答が半数以上を占め、参加に対して決めかねている人が多かった。

## 中標津町全般について

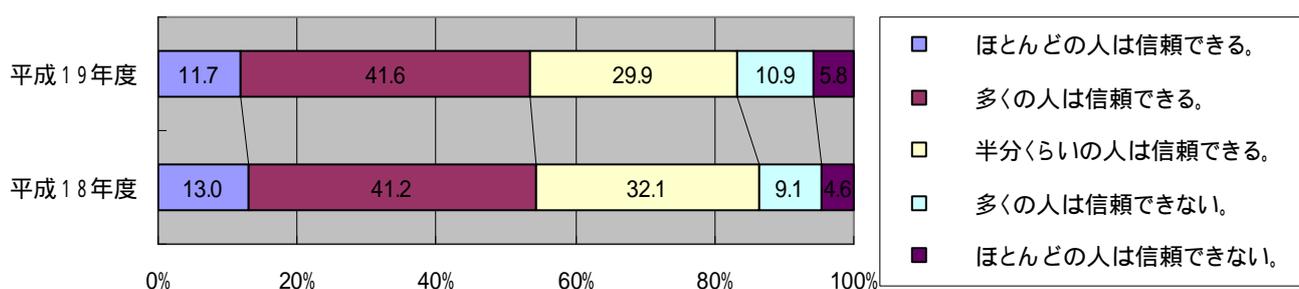
今回の調査で得た、中標津町の好きなところ。嫌いなところ。について、以降の「中標津町全般について、お答えください。」で、代表的な意見を整理して、抜粋掲載しております。

## 「中標津町のパートナーシップ調査」比較集計結果

あなたの地域でのパートナーシップについて、お答えください。

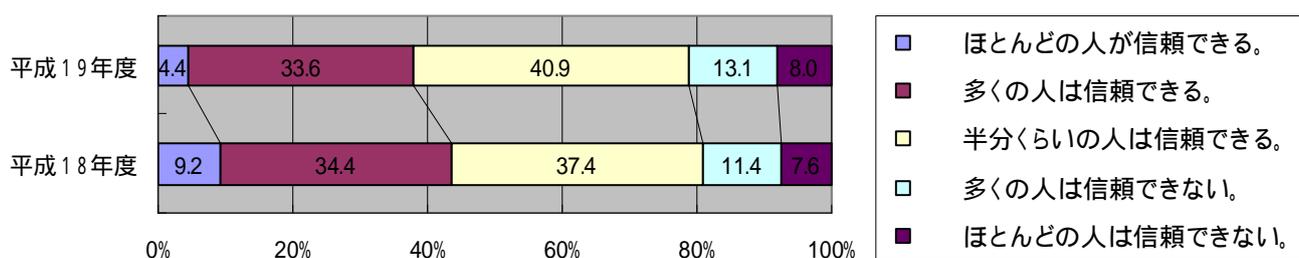
信頼について

質 問 項 目 等	平成18年度		平成19年度	
	回答数	構成比率	回答数	構成比率
(1) 一般的に、人は信頼できると思いますか？	131	100.0	137	100.0
ほとんどの人は信頼できる。	17	13.0	16	11.7
多くの人は信頼できる。	54	41.2	57	41.6
半分くらいの方は信頼できる。	42	32.1	41	29.9
多くの人は信頼できない。	12	9.1	15	10.9
ほとんどの人は信頼できない。	6	4.6	8	5.8



信頼できる割合は違うが、昨年同様、8割以上の方が「信頼できる」と答えており、「信頼できない」と答えた人を大きく上回っている。

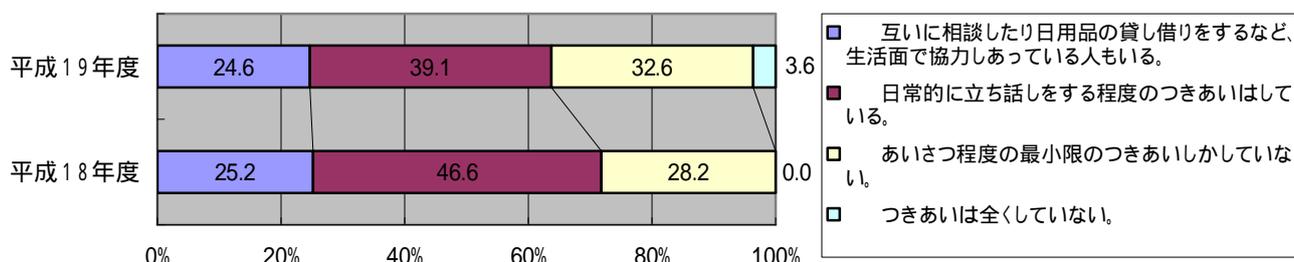
質 問 項 目 等	平成18年度		平成19年度	
	回答数	構成比率	回答数	構成比率
(2) 「旅先」や「見知らぬ土地」で出会う人に対してはどうですか？	131	100.0	137	100.0
ほとんどの人が信頼できる。	12	9.2	6	4.4
多くの人は信頼できる。	45	34.4	46	33.6
半分くらいの方は信頼できる。	49	37.4	56	40.9
多くの人は信頼できない。	15	11.4	18	13.1
ほとんどの人は信頼できない。	10	7.6	11	8.0



信頼できる割合は違うが、昨年同様、役8割の方が「信頼できる」と答えており、「信頼できない」と答えた人を大きく上回っている。

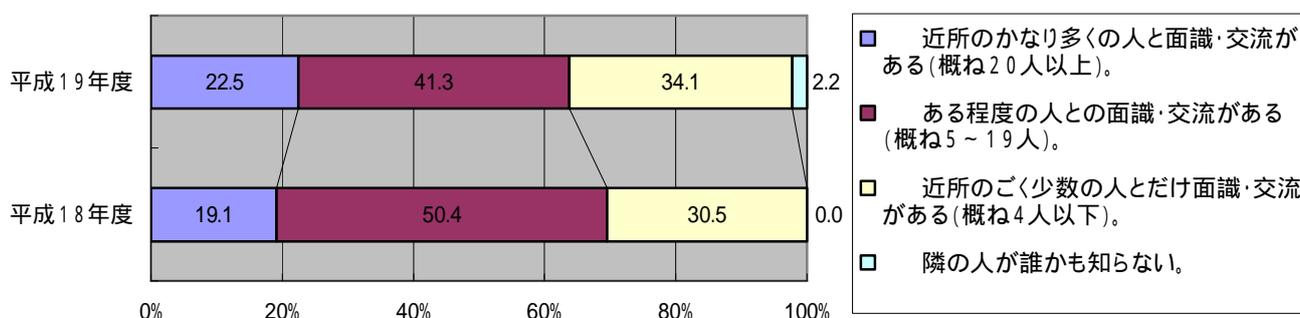
つきあいや交流について

質問項目等	平成18年度		平成19年度	
	回答数	構成比率	回答数	構成比率
(1)ご近所の方と、どのようなつきあいをしていますか？				
つきあいの程度	131	100.0	138	100.0
互いに相談したり日用品の貸し借りをするなど、生活面で協力しあっている人もいる。	33	25.2	34	24.6
日常的に立ち話しをする程度のつきあいはしている。	61	46.6	54	39.1
あいさつ程度の最小限のつきあいしかしていない。	37	28.2	45	32.6
つきあいは全くしていない。	0	0.0	5	3.6



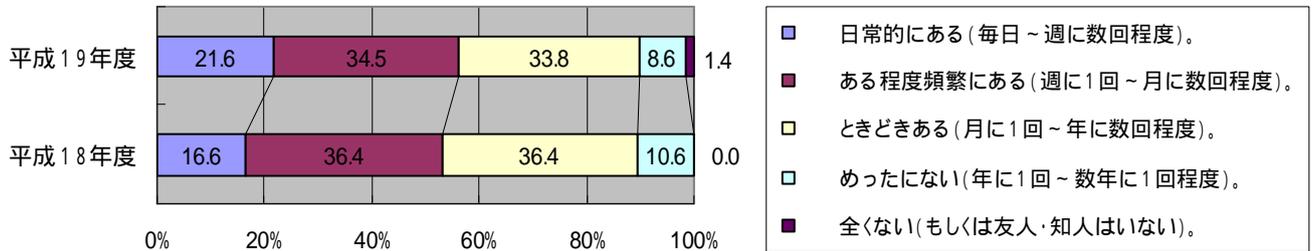
度合いは違うが、大半がなんらかのつきあいはあるという結果になっている。しかし、昨年、0%だった「つきあいは全くしていない。」が、今回の調査で3.6%であるが割合を占めた。

質問項目等	平成18年度		平成19年度	
	回答数	構成比率	回答数	構成比率
つきあっている人の数	131	100.0	138	100.0
近所はかなり多くの人と面識・交流がある(概ね20人以上)。	25	19.1	31	22.5
ある程度の人との面識・交流がある(概ね5~19人)。	66	50.4	57	41.3
近所のごく少数の人とだけ面識・交流がある(概ね4人以下)。	40	30.5	47	34.1
隣の人が誰かも知らない。	0	0.0	3	2.2



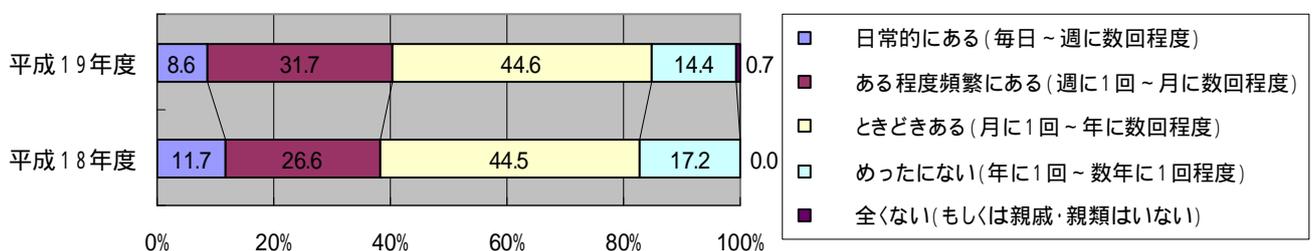
「ある程度」と「かなり多くの人」の面識・交流を合わせると半数以上を占めたが、昨年、0%だった「隣の人が誰かも知らない。」が、今回の調査で2.2%であるが割合を占めた。

質 問 項 目 等	平成18年度		平成19年度	
	回答数	構成比率	回答数	構成比率
<b>(2) 次にそれぞれについて、普段どの程度のつきあいをしていますか？</b>				
友人・知人とのつきあい(学校や職場以外で)	132	100.0	139	100.0
日常的にある(毎日～週に数回程度)。	22	16.6	30	21.6
ある程度頻繁にある(週に1回～月に数回程度)。	48	36.4	48	34.5
ときどきある(月に1回～年に数回程度)。	48	36.4	47	33.8
めったにない(年に1回～数年に1回程度)。	14	10.6	12	8.6
全くない(もしくは友人・知人はいない)。	0	0.0	2	1.4



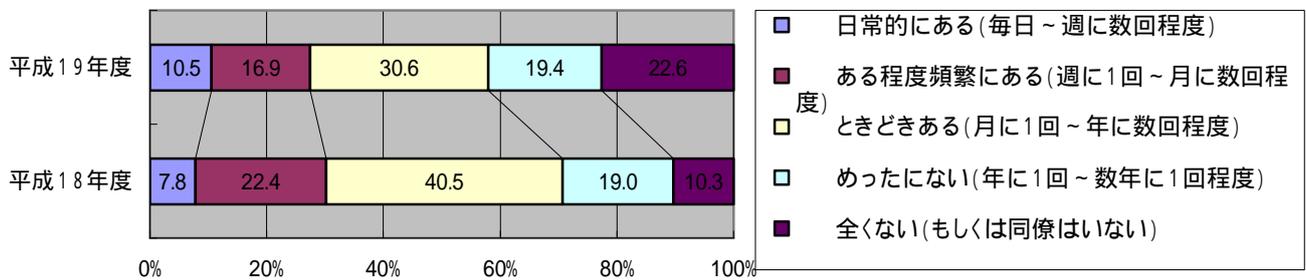
昨年対比で、「日常的にある」が5ポイント増加したが、昨年、0%だった「全くない」も1.4%であるが割合を占めた。

質 問 項 目 等	平成18年度		平成19年度	
	回答数	構成比率	回答数	構成比率
<b>親戚・親類とのつきあい</b>				
日常的にある(毎日～週に数回程度)	15	11.7	12	8.6
ある程度頻繁にある(週に1回～月に数回程度)	34	26.6	44	31.7
ときどきある(月に1回～年に数回程度)	57	44.5	62	44.6
めったにない(年に1回～数年に1回程度)	22	17.2	20	14.4
全くない(もしくは親戚・親類はいない)	0	0.0	1	0.7



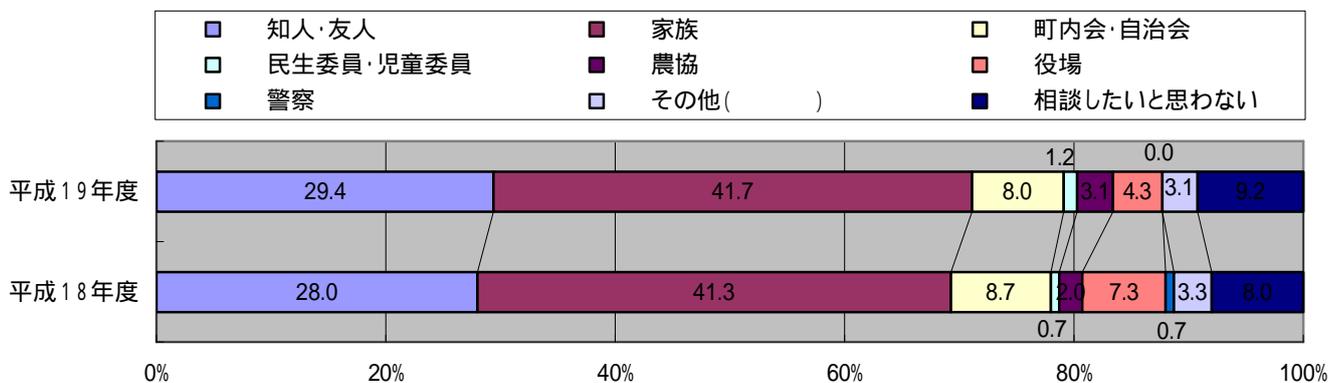
昨年対比で、さほど大きな変化は見られないが、昨年、0%だった「全くない」も0.7%であるが割合を占めた。

質問項目等	平成18年度		平成19年度	
	回答数	構成比率	回答数	構成比率
職場の同僚とのつきあい(職場以外で)	116	100.0	124	100.0
日常的にある(毎日～週に数回程度)	9	7.8	13	10.5
ある程度頻繁にある(週に1回～月に数回程度)	26	22.4	21	16.9
ときどきある(月に1回～年に数回程度)	47	40.5	38	30.6
めったにない(年に1回～数年に1回程度)	22	19.0	24	19.4
全くない(もしくは同僚はいない)	12	10.3	28	22.6



「ときどきある」が最も多いが、昨年対比で「全くない」の割合が12.3ポイント増加した。

質問項目等	平成18年度		平成19年度	
	回答数	構成比率	回答数	構成比率
(3)地域の困りごとや悩み事を、主にどこに相談しますか?	150	100.0	163	100.0
知人・友人	42	28.0	48	29.4
家族	62	41.3	68	41.7
町内会・自治会	13	8.7	13	8.0
民生委員・児童委員	1	0.7	2	1.2
農協	3	2.0	5	3.1
役場	11	7.3	7	4.3
警察	1	0.7	0	0.0
その他( )	5	3.3	5	3.1
相談したいと思わない	12	8.0	15	9.2



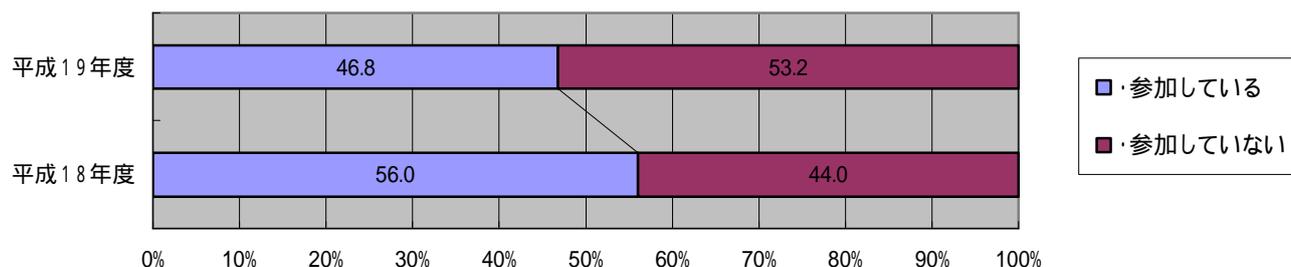
昨年同様、「家族」や「知人・友人」が大きな割合を占めている。

地域活動への参加について、お答えください。

地域活動への参加

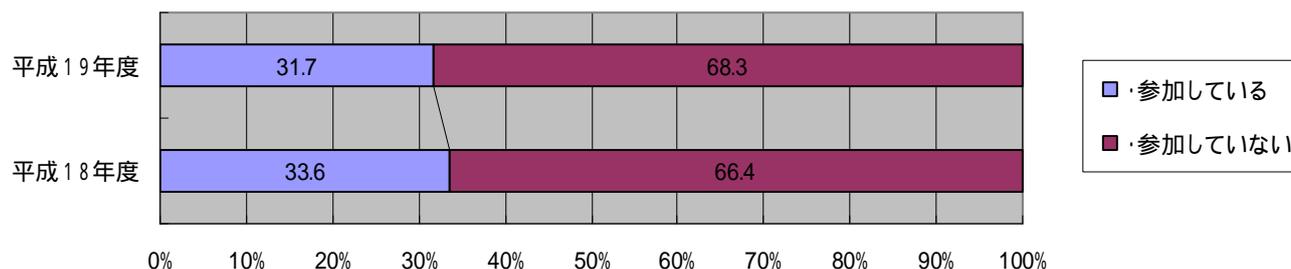
質 問 項 目 等	平成18年度		平成19年度	
	回答数	構成比率	回答数	構成比率
<b>(1) あなたは次のような地域の活動に参加していますか？それぞれについて、どちらかに付けてください。(学校などのクラブ活動は含まない)</b>				
地縁的な活動 (自治会、町内会、婦人会、老人会、青年団、子ども会等)	125	100.0	139	100.0
・参加している	70	56.0	65	46.8
・参加していない	55	44.0	74	53.2
スポーツ・趣味活動 (各種スポーツ、芸術文化活動、生涯学習等)	119	100.0	139	100.0
・参加している	40	33.6	44	31.7
・参加していない	79	66.4	95	68.3
ボランティア・NPO・市民活動 (まちづくり、高齢者・障害者福祉や子育て、スポーツ指導、防犯、防災、環境、国際協力等)	118	100.0	138	100.0
・参加している	22	18.6	26	18.8
・参加していない	96	81.4	112	81.2
その他の団体や活動(商工会・業種組合、宗教、政治等) (もしくは、ここに無いもの)	117	100.0	138	100.0
・参加している	23	19.7	35	25.4
・参加していない	94	80.3	103	74.6

【地縁的な活動】(自治会、町内会、婦人会、老人会、青年団、子ども会等)



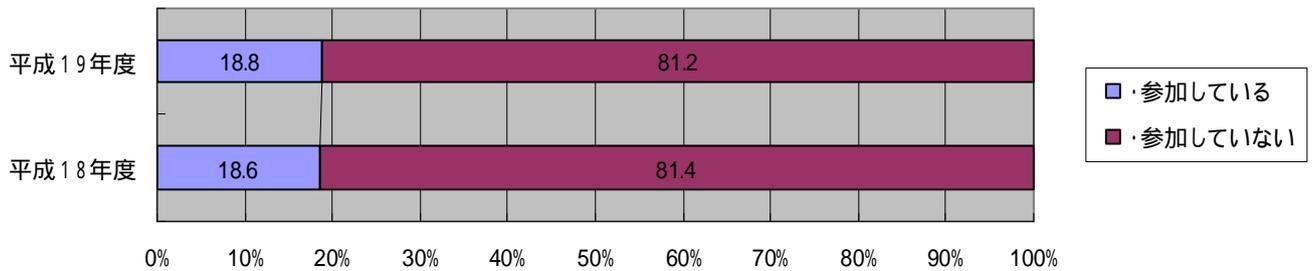
「参加している」と回答した人は、約半数であるが、前年対比は、「参加している」で、9.2ポイントの減少が見られる。

【スポーツ・趣味活動】(各種スポーツ、芸術文化活動、生涯学習等)



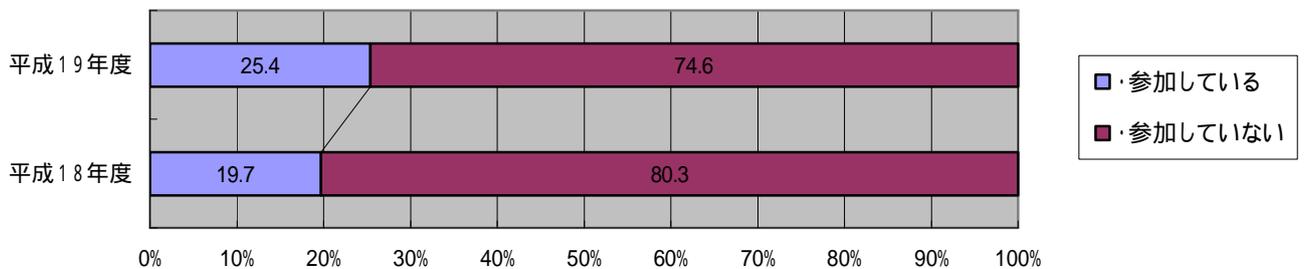
「参加している」と回答した人は、約3割であるが、前年対比は、「参加している」で、1.9ポイントの減少が見られる。

【ボランティア・NPO・市民活動】(まちづくり、高齢者・障害者福祉や子育て、スポーツ指導、防犯、防災、環境、国際協力等)



「参加している」と回答した人は約2割で、前年との大きな変化は見られない。

【その他の団体や活動】(商工会・業種組合、宗教、政治等)(もしくは、ここに無いもの)

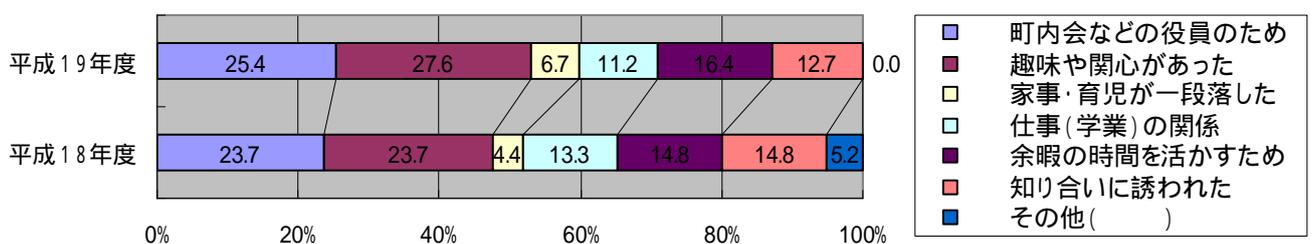


「参加している」と回答した人は、前年対比で5.7ポイントの増加が見られる。

今回調査について、「どの活動にも参加していない」(53.2～81.2%)人の割合がいずれの項目も過半数を超えている。また、「参加している」のは、「地縁的な団体」(46.8%)が一番多く、「ボランティア・市民活動」(18.8%)が一番少ない。

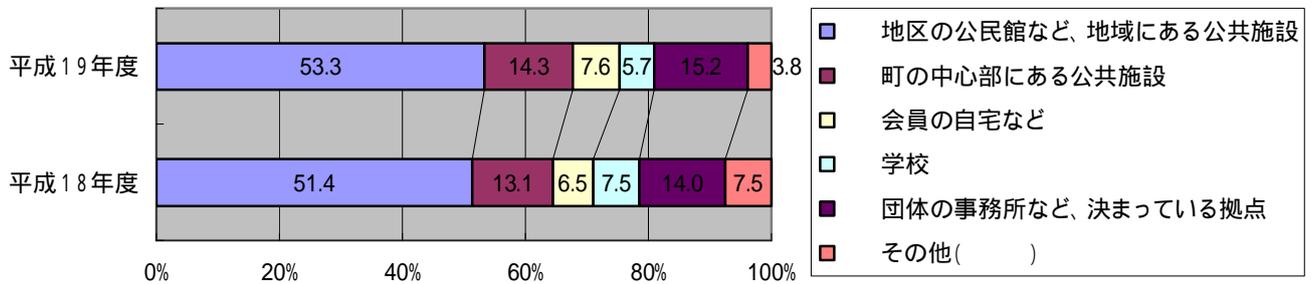
どれか一つでも参加しているに、つけた方へお伺いします。(複数回答可)

質問項目等	平成18年度		平成19年度	
	回答数	構成比率	回答数	構成比率
(2) どのようなきっかけで参加しましたか？	135	100.0	134	100.0
町内会などの役員のため	32	23.7	34	25.4
趣味や関心があった	32	23.7	37	27.6
家事・育児が一段落した	6	4.4	9	6.7
仕事(学業)の関係	18	13.3	15	11.2
余暇の時間を活かすため	20	14.8	22	16.4
知り合いに誘われた	20	14.8	17	12.7
その他( )	7	5.2	0	0.0



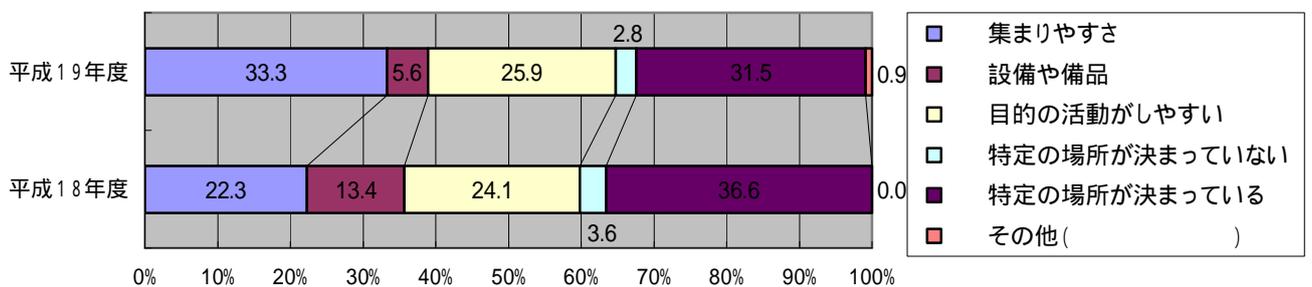
「趣味や関心があった」と「役員のため」を合わせ約半数を占めているが、前年との大きな変化は見られない。

質 問 項 目 等	平成18年度		平成19年度	
	回答数	構成比率	回答数	構成比率
(3) 主に、どこで活動していますか？	107	100.0	105	100.0
地区の公民館など、地域にある公共施設	55	51.4	56	53.3
町の中心部にある公共施設	14	13.1	15	14.3
会員の自宅など	7	6.5	8	7.6
学校	8	7.5	6	5.7
団体の事務所など、決まっている拠点	15	14.0	16	15.2
その他( )	8	7.5	4	3.8



「地域の公共施設」を利用している割合が半数以上を占め、前年との大きな変化は見られない。

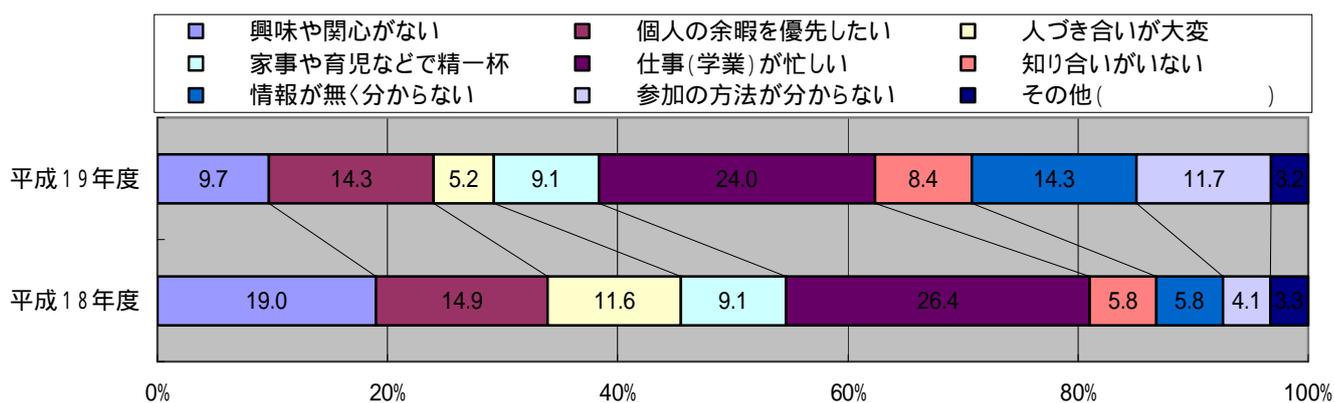
質 問 項 目 等	平成18年度		平成19年度	
	回答数	構成比率	回答数	構成比率
(4) なぜ、その場所を使っていますか？	112	100.0	108	100.0
集まりやすさ	25	22.3	36	33.3
設備や備品	15	13.4	6	5.6
目的の活動がしやすい	27	24.1	28	25.9
特定の場所が決まっていない	4	3.6	3	2.8
特定の場所が決まっている	41	36.6	34	31.5
その他( )	0	0.0	1	0.9



「集まりやすさ」、「決まっている」、「目的の活動がしやすい」が、昨年と同様に高い割合を占めている。

どれか一つでも参加していないに、つけた方へお伺いします。(複数回答可)

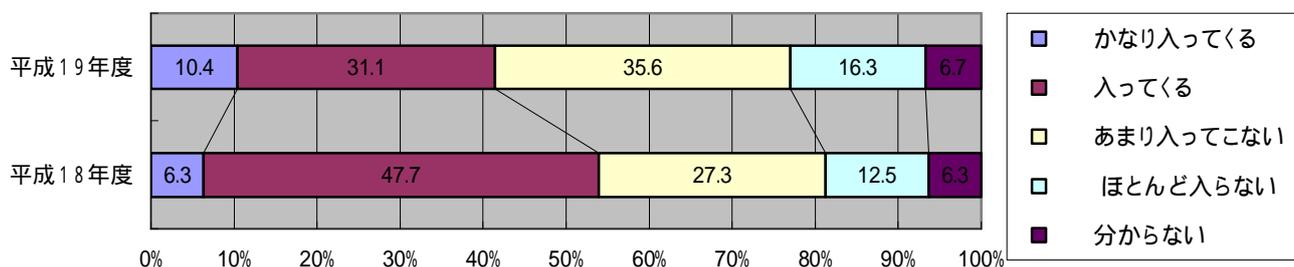
質問項目等	平成18年度		平成19年度	
	回答数	構成比率	回答数	構成比率
(5) 参加していない理由は、なんですか？	121	100.0	154	100.0
興味や関心がない	23	19.0	15	9.7
個人の余暇を優先したい	18	14.9	22	14.3
人づき合いが大変	14	11.6	8	5.2
家事や育児などで精一杯	11	9.1	14	9.1
仕事(学業)が忙しい	32	26.4	37	24.0
知り合いがいない	7	5.8	13	8.4
情報が無く分からない	7	5.8	22	14.3
参加の方法が分からない	5	4.1	18	11.7
その他( )	4	3.3	5	3.2



「仕事が忙しい」が、昨年同様一番多い。

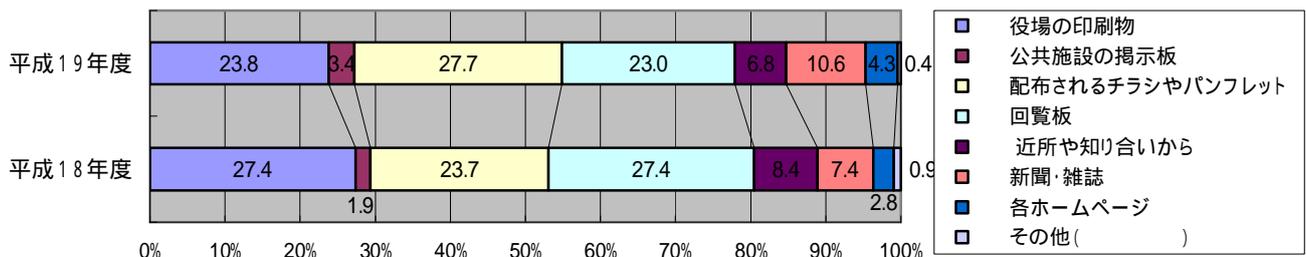
以下は、全員をお願いします。

質問項目等	平成18年度		平成19年度	
	回答数	構成比率	回答数	構成比率
(6) 地域活動に関する情報は、どの程度入手していると考えますか？	128	100.0	135	100.0
かなり入ってくる	8	6.3	14	10.4
入ってくる	61	47.7	42	31.1
あまり入ってこない	35	27.3	48	35.6
ほとんど入らない	16	12.5	22	16.3
分からない	8	6.3	9	6.7



前年対比で、「入ってくる」と答えた人が、12.5ポイント減少した。

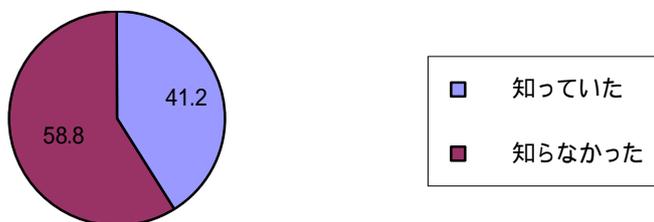
質 問 項 目 等	平成18年度		平成19年度	
	回答数	構成比率	回答数	構成比率
(7) どのような方法で、情報を知りたいですか？ (2つまで複数回答可)	215	100.0	235	100.0
役場の印刷物	59	27.4	56	23.8
公共施設の掲示板	4	1.9	8	3.4
配布されるチラシやパンフレット	51	23.7	65	27.7
回覧板	59	27.4	54	23.0
近所や知り合いから	18	8.4	16	6.8
新聞・雑誌	16	7.4	25	10.6
各ホームページ	6	2.8	10	4.3
その他( )	2	0.9	1	0.4



「チラシなど」、「役場の印刷物」、「回覧板」が、昨年と同様に高い割合を占めている。

平成20年2月17日(日)に中標津町総合文化会館で開催された「中標津まちづくり交流広場」についてお伺いします。

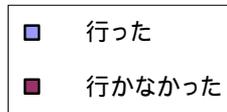
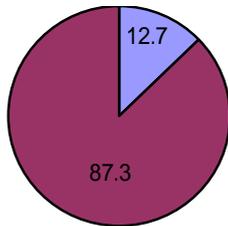
質 問 項 目 等	平成18年度		平成19年度	
	回答数	構成比率	回答数	構成比率
(8) 「中標津まちづくり交流広場」が開催されることを知っていましたか？			136	100.0
知っていた			56	41.2
知らなかった			80	58.8



半数以上が、「知らない」結果となった。

(8)で を選んだ方のみお伺いします。

質 問 項 目 等	平成18年度		平成19年度	
	回答数	構成比率	回答数	構成比率
(9)「中標津まちづくり交流広場」へ行きましたか？	/		55	100.0
行った			7	12.7
行かなかった			48	87.3

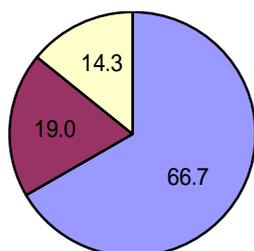


開催を知っていた人が、交流広場へ行ったのは、約1割となった。

質 問 項 目 等	平成18年度		平成19年度	
	回答数	構成比率	回答数	構成比率
(10) 今回の「中標津まちづくり交流広場」のような、パートナーシップの場に対して、今後開催する場合、取り入れてみたい企画・内容がありましたらご記入ください。	/		3	2.2
気軽に参加できるような平易な表現で呼びかけて欲しい。			/	
続けて、年に数回開催することが重要と考える。				
ジュニアサミットで、高校生の考えている事が少しわかったので良かった。				

(9)で を選んだ方のみお伺いします。

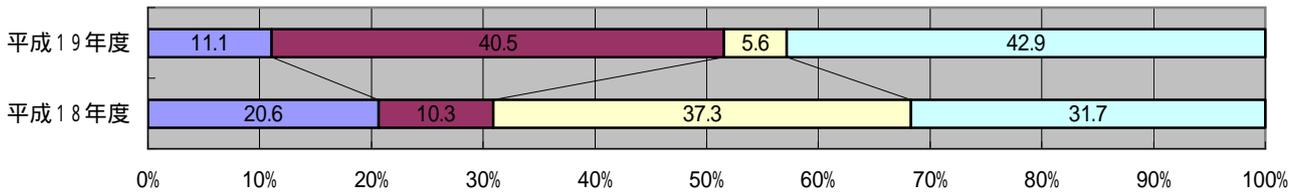
質 問 項 目 等	平成18年度		平成19年度	
	回答数	構成比率	回答数	構成比率
(11)「中標津まちづくり交流広場」へ、行かなかった理由をお答えください。	/		42	100.0
用事があった			28	66.7
興味が無い			8	19.0
その他			6	14.3



交流広場へ行かなかった理由として、「用事があった」が66.7%で半数以上占めた。課題解決のための地域活動への参加について、お答えください。

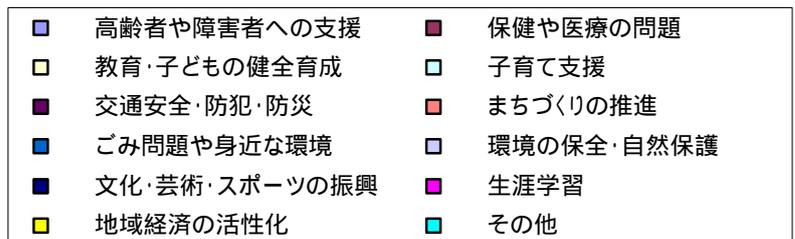
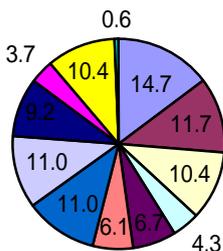
課題解決のための地域活動への参加

質 問 項 目 等	平成18年度		平成19年度	
	回答数	構成比率	回答数	構成比率
(1) あなたは、地域の課題を解決するための活動に参加したことがありますか？また、今後の参加の意向はどうか？	126	100.0	126	100.0
参加したことがあり、今後も続けていきたい。	26	20.6	14	11.1
参加したことはないが、今後は参加したい。	13	10.3	51	40.5
参加したことがあるが、今後は参加を控えたい。	47	37.3	7	5.6
参加したことがなく、今後も参加する気はない。	40	31.7	54	42.9



前年対比で、今後参加していききたい考えの人は20.7ポイント増加して、全体の半数以上の割合を占めた。

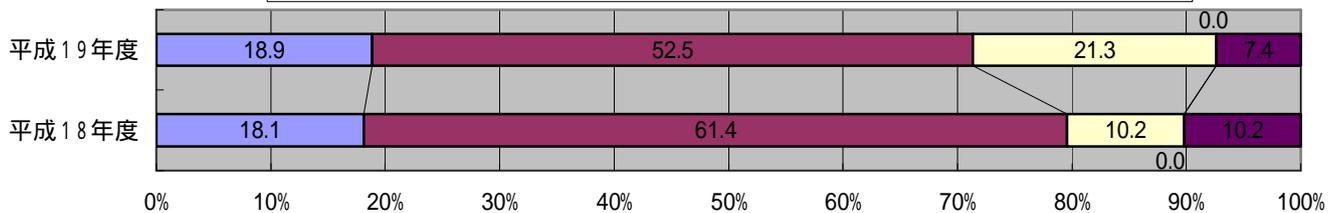
質 問 項 目 等	平成18年度		平成19年度	
	回答数	構成比率	回答数	構成比率
(2) (1)で・を選んだ方のみお答えください。地域の課題解決のために、今後参加したい活動はどのようなことですか？(複数回答可)			163	100.0
高齢者や障害者への支援			24	14.7
保健や医療の問題			19	11.7
教育・子どもの健全育成			17	10.4
子育て支援			7	4.3
交通安全・防犯・防災			11	6.7
まちづくりの推進			10	6.1
ごみ問題や身近な環境			18	11.0
環境の保全・自然保護			18	11.0
文化・芸術・スポーツの振興			15	9.2
生涯学習			6	3.7
地域経済の活性化			17	10.4
その他			1	0.6



「高齢者や障害者への支援」14.7%を始め、保健、教育、ごみ、環境、地域経済の項目については、各々、1割以上占める割合となった。

質 問 項 目 等	平成18年度		平成19年度	
	回答数	構成比率	回答数	構成比率
(3)地域の課題解決を行政任せにせず、住民自らが自治の担い手となって、まちづくりに取り組むコミュニティ活動について、どのように思いますか？	127	100.0	122	100.0
住民ができることはできるだけ住民が主体となって行うべきである。	23	18.1	23	18.9
住民と行政の双方が主体となり、協働して行うべきである。	78	61.4	64	52.5
行政が主体となって取り組むべきで、住民は必要に応じて行政と連携すべきである。	13	10.2	26	21.3
すべて行政が主体となって行うべきである。	0	0.0	0	0.0
わからない	13	10.2	9	7.4

- 住民ができることはできるだけ住民が主体となって行うべきである。
- 住民と行政の双方が主体となり、協働して行うべきである。
- 行政が主体となって取り組むべきで、住民は必要に応じて行政と連携すべきである。
- すべて行政が主体となって行うべきである。
- わからない

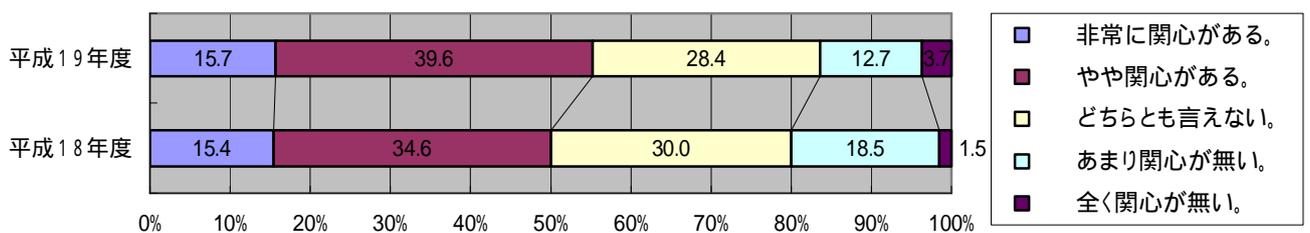


「協働して行なうべき」の割合が、前年同様、半数以上を占めた。また、「すべて行政主体」は0%となった。

行政への参加について、お答えください。

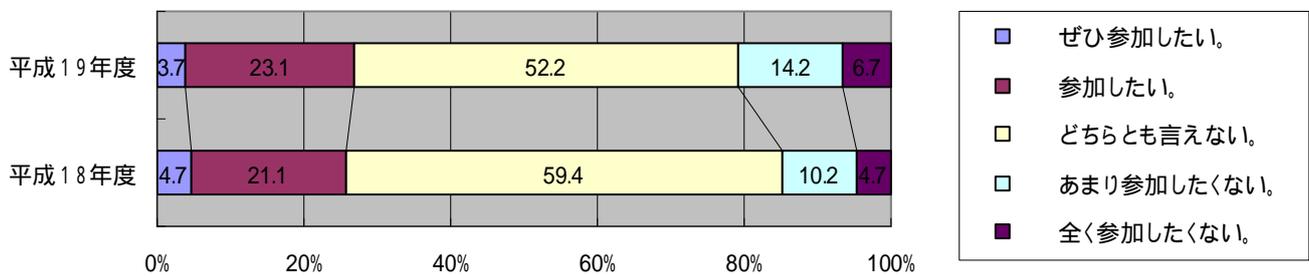
行政への参加

質 問 項 目 等	平成18年度		平成19年度	
	回答数	構成比率	回答数	構成比率
(1)町（役場）のまちづくり全般に関心がありますか？	130	100.0	134	100.0
非常に関心がある。	20	15.4	21	15.7
やや関心がある。	45	34.6	53	39.6
どちらとも言えない。	39	30.0	38	28.4
あまり関心が無い。	24	18.5	17	12.7
全く関心が無い。	2	1.5	5	3.7



「やや関心がある」が、昨年同様、一番多く割合を占めた。一方で、「どちらとも言えない」も全体の3割を占めている。

質 問 項 目 等	平成18年度		平成19年度	
	回答数	構成比率	回答数	構成比率
(2) 町(役場)のまちづくりに参加したいと思いますか？	128	100.0	134	100.0
ぜひ参加したい。	6	4.7	5	3.7
参加したい。	27	21.1	31	23.1
どちらとも言えない。	76	59.4	70	52.2
あまり参加したくない。	13	10.2	19	14.2
全く参加したくない。	6	4.7	9	6.7

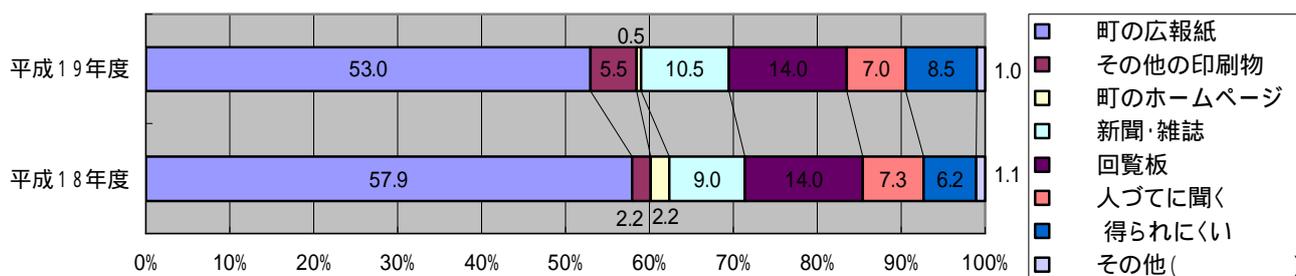


昨年同様、「どちらとも言えない」が半数以上を占めた。

【代表的な意見を整理して、今回分のみ抜粋掲載】

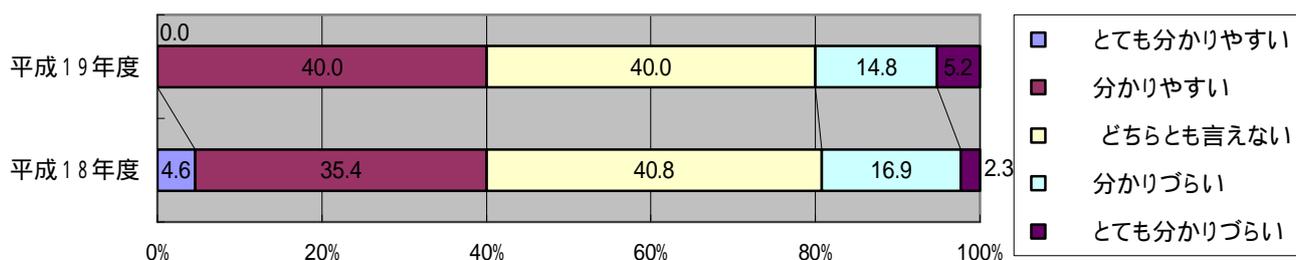
質 問 項 目 等	平成19年度	
	回答数	構成比率
(3) なぜ、そう思いますか？その理由をお書きください。	77	55.4
【参 加】	23	
自分の町であり住みやすくしたい等の参加したい意見	12	
関心があり、自分の勉強にもなる等の参加したい意見	7	
役場に頼ってられない。役場だけでは一方的になる等の参加したい意見	4	
【どちらとも言えない・不参加】	54	
時間に余裕が無い、仕事や育児が忙しい等の参加できない意見	14	
興味がないし、わからない、変わらない等の参加したくない意見	14	
役場への不満等の参加したくない意見	5	
通勤族の為、町を離れるので等の参加できない意見	4	
高齢や病気などの理由で無理である等の参加できない意見	6	
興味のあることのみ参加する意見	5	
その他(人間関係や話し合う環境がいや)等の参加できない意見	6	

質 問 項 目 等	平成18年度		平成19年度	
	回答数	構成比率	回答数	構成比率
(4) 町(役場)のまちづくり全般に対する情報は、主にどこから得ていますか？	178	100.0	200	100.0
町の広報紙	103	57.9	106	53.0
その他の印刷物	4	2.2	11	5.5
町のホームページ	4	2.2	1	0.5
新聞・雑誌	16	9.0	21	10.5
回覧板	25	14.0	28	14.0
人づてに聞く	13	7.3	14	7.0
得られにくい	11	6.2	17	8.5
その他( )	2	1.1	2	1.0



「広報紙」が半数以上を占め、次いで、「回覧板」「新聞・雑誌」が1割以上を占め、昨年と大きな変化は見られない。

質 問 項 目 等	平成18年度		平成19年度	
	回答数	構成比率	回答数	構成比率
(5) 町からのまちづくりに関する情報提供は分かりやすいですか？	130	100.0	135	100.0
とても分かりやすい	6	4.6	0	0.0
分かりやすい	46	35.4	54	40.0
どちらとも言えない	53	40.8	54	40.0
分かりづらい	22	16.9	20	14.8
とても分かりづらい	3	2.3	7	5.2

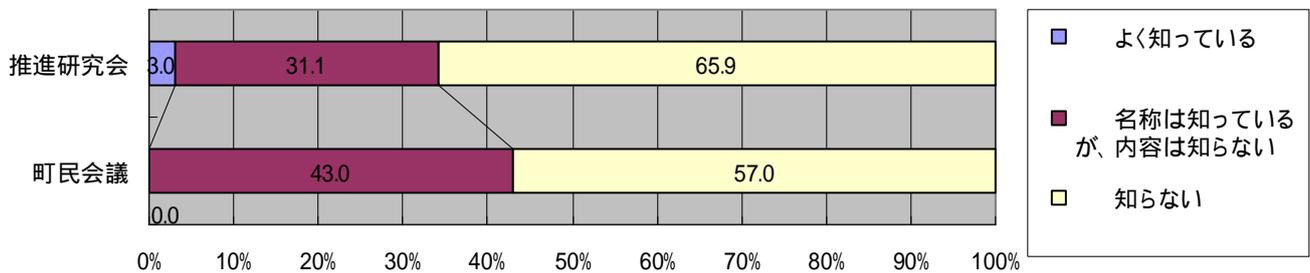


「分かりやすい」と「どちらとも言えない」がともに、40.0%を占めた。昨年、「とても分かりやすい」が4.6%だったが、今回調査では0%となった。

H18 は、中標津町「パートナーシップで進めるまちづくり」町民会議について。

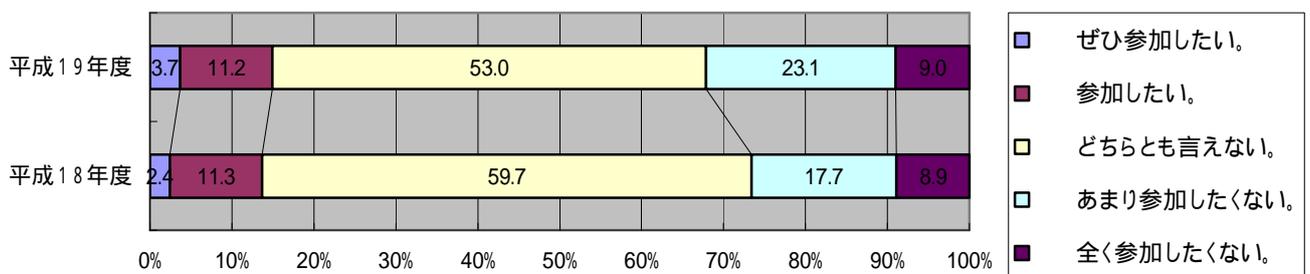
H19 は、中標津町パートナーシップ推進研究会について。

質 問 項 目 等	平成18年度		平成19年度	
	回答数	構成比率	回答数	構成比率
(1) 町民会議・推進研究会について、知っていましたか。	128	100.0	135	100.0
よく知っている	0	0.0	4	3.0
名称は知っているが、内容は知らない	55	43.0	42	31.1
知らない	73	57.0	89	65.9



前年対比で、「知っている」は、11.9ポイント減少したが、昨年、0%だった「よく知っている」が、3.0ポイント増加した。また、今回調査では「知っている」に対し、「知らない」は約倍の割合となった。

質 問 項 目 等	平成18年度		平成19年度	
	回答数	構成比率	回答数	構成比率
(2) 今後、「パートナーシップで進めるまちづくり」関連事業に参加したいと思いますか？	124	100.0	134	100.0
ぜひ参加したい。	3	2.4	5	3.7
参加したい。	14	11.3	15	11.2
どちらとも言えない。	74	59.7	71	53.0
あまり参加したくない。	22	17.7	31	23.1
全く参加したくない。	11	8.9	12	9.0



昨年対比で、「参加したくない」にいくらかのポイント増加が見られるが、依然「どちらとも言えない」の割合が半数以上を占めた。

【代表的な意見を整理して、今回分のみ抜粋掲載】

中標津町全般について、お答えください。

質 問 項 目 等	平成19年度	
	回答数	構成比率
(1) 中標津町の好きな(良い)所は、どんな所ですか？ (景観関係、人間関係、生活全般(住みやすさ、利便性)、など、何でも可) (複数回答あり)	103	74.1
生活全般、との意見	70	
環境が良い、自然が豊か、景観が良い、などの意見	40	
人間関係が良い、などの意見	13	
買い物 convenient、などの意見	7	

回答数103に対して内訳の合計数が合わないのは、1つの回答に複数の意見が寄せられているため、意見の多かったものを主として記載し集計しました。

質 問 項 目 等	平成19年度	
	回答数	構成比率
(2) なぜ、そう思いますか？その理由をお書きください。(複数回答あり)	82	59.0
大型店・スーパーが多い、商業施設が揃っていて、物価が安く買い物しやすい。生活するのに困らないなどの意見		
自然が多い、空気が美味しい、風景が良い、街中がきれいなどの意見		
空港があり交通の便も良い、道路整備も充実して何処へでも行けるなどの意見		
子育てするのに環境が良いなどの意見		
人がおおらか、親切、良い人ばかり、活気があるなどの意見		
いなかの良さなどの意見		
生まれ育ったところだからなどの意見		
病院、公共施設が充実しているなどの意見		
海のものも山のものも美味しい、水が美味しいなどの意見		
事故・事件が少なく安全であるなどの意見		

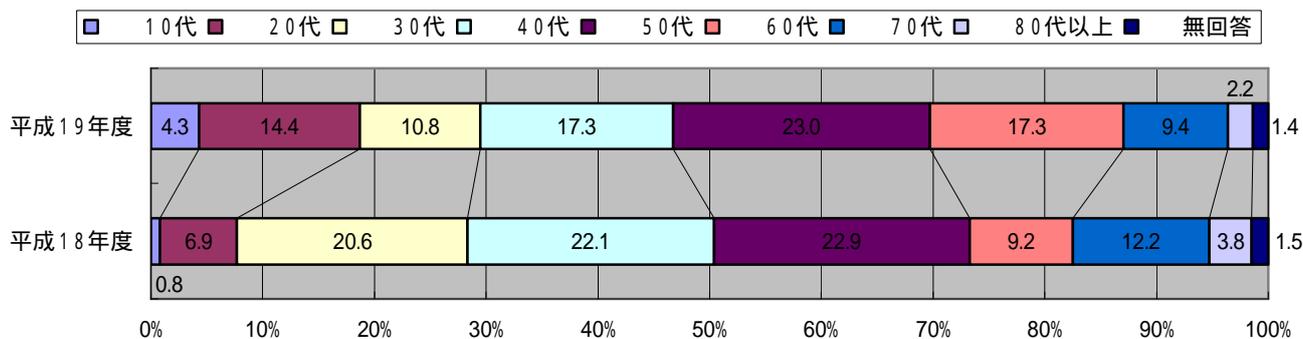
質 問 項 目 等	平成19年度	
	回答数	構成比率
(3) 中標津町の嫌いな(悪い)所は、どんな所ですか？(複数回答あり)	79	56.8
人間が冷たい、住民のマナーが悪い、熱しやすく冷めやすいなどの意見	16	
交通の便が悪い、交通費が高いなどの意見	14	
中心市街地の空洞化、活気がない、仕事がなく景気が悪いなどの意見	14	
中途半端な都会性、レジャー施設の充実に関する事などの意見	12	
公共施設・商店の充実に関することや位置がバラバラな所にあるなどの意見	10	
ふん尿のにおい、などの意見	7	
公共料金、レジャー料金、各種使用料金が安いなどの意見	6	
土地開発、地域格差、などの意見	5	
病院に不安がある、医師が少ない、などの意見	5	

回答数79に対して内訳の合計数が合わないのは、主となる意見を抜粋し集計しているため。

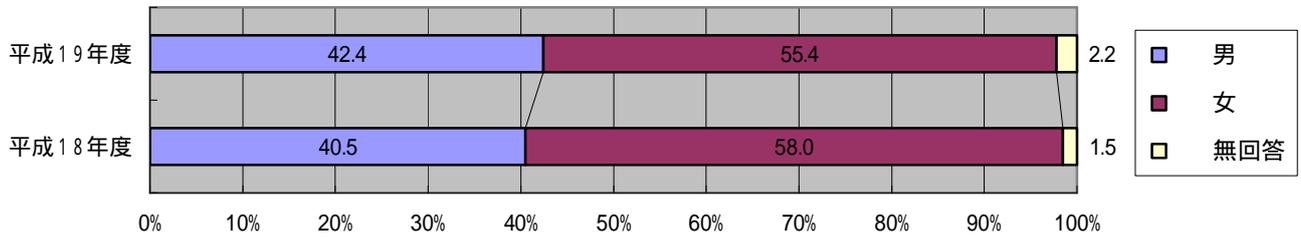
質問項目等	平成19年度	
	回答数	構成比率
(4) なぜ、そう思いますか？その理由をお書きください。(複数回答あり)	76	54.7
思いやりにない、自己中心的、ゴミのポイ捨て、行事への参加意欲が気薄などの意見	文章による複数回答	
JRがない、飛行機の便数が少ない、車が無いと不便、などの意見		
大型店があり個人商店に活気がなく、本通は閉まってる店が多い。同じような店ばかりで専門店が少なく、必要ない建物がある。などの意見		
子供たちが歩いて遊びに行けるところ。などの意見		
楽しく遊べる施設がない。スポーツが出来る場所が無い。などの意見		
牛のふん尿がくさい。臭いがすごい。などの意見		
水道料金などアパートの家賃や物価が高い。都会並みに高い。などの意見		
計画的に土地開発、建物を建てていない。ワンセグが使えない。などの意見		
役場は融通がきかない。やる気のない対応。などの意見		
病院が遠い、医師の人数に不安。待ち時間が長い。などの意見		
教育の充実、講座を増やして欲しい。などの意見		

最後になりましたが、あなたについてお答えください。

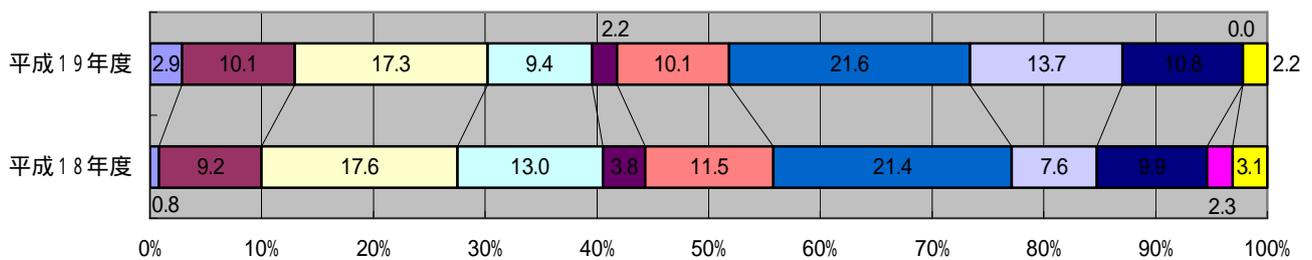
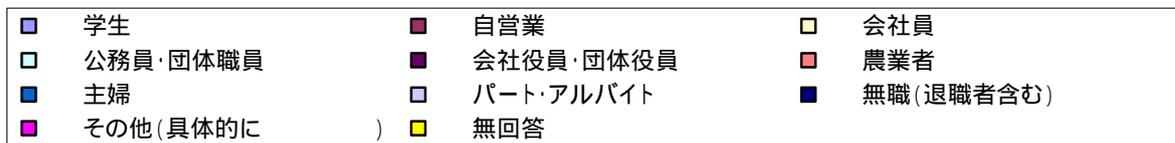
質問項目等	平成18年度		平成19年度	
	回答数	構成比率	回答数	構成比率
(1) 年齢について	131	100.0	139	100.0
10代	1	0.8	6	4.3
20代	9	6.9	20	14.4
30代	27	20.6	15	10.8
40代	29	22.1	24	17.3
50代	30	22.9	32	23.0
60代	12	9.2	24	17.3
70代	16	12.2	13	9.4
80代以上	5	3.8	3	2.2
無回答	2	1.5	2	1.4



質問項目等	平成18年度		平成19年度	
	回答数	構成比率	回答数	構成比率
(2) 性別について	131	100.0	139	100.0
男	53	40.5	59	42.4
女	76	58.0	77	55.4
無回答	2	1.5	3	2.2



質問項目等	平成18年度		平成19年度	
	回答数	構成比率	回答数	構成比率
(3) 職業について	131	100.0	139	100.0
学生	1	0.8	4	2.9
自営業	12	9.2	14	10.1
会社員	23	17.6	24	17.3
公務員・団体職員	17	13.0	13	9.4
会社役員・団体役員	5	3.8	3	2.2
農業者	15	11.5	14	10.1
主婦	28	21.4	30	21.6
パート・アルバイト	10	7.6	19	13.7
無職(退職者含む)	13	9.9	15	10.8
その他(具体的に ) (別紙)	3	2.3	0	0.0
無回答	4	3.1	3	2.2



【平成19年度分のみ記載】

質 問 項 目 等		回答数	構成比率
(4)「パートナーシップで進めるまちづくり」に関して、ご意見・ご要望などありましたらご記入ください。		31	22.3
1	このアンケートの意図が分からないパートナーシップが泥舟でないことを・・・。		
2	牛のスラリー臭を何とかしてください。		
3	余談ですが、防犯のため多発地域の外灯を青色系にしてはいかがでしょうか。値段は高いそうですが、イギリスでは効果があったそうです。(オレンジ色より良く見えるとのことでした。) 駐車中の車両にバックを置いたままとか、ロックを掛けないでいたりと本人の不注意でドロボーにやられてしまうというような事例を良く聞きますが、相手に妙な予断や冒険心を起こさせない態度も必要ではと思います。 犯罪の少ない安全な町で旅行者が何回かでも行きたくなるように努力が必要かも。		
4	まず、この題名はお年寄りに理解できるんですか？ 『パートナーシップ』って何？と思うんじゃないですか？ 私でも少し理解しづらい文章書かれても、お年寄りの中には意見するにも意味がわからずアンケートさえ回答できないはず。 まず、この『パートナーシップ』をわかりやすくした方が良いのではないのでしょうか？まず、出発はそこからでしょう！！		
5	冬の開陽台に関してだが、育成牧場の中を歩くスキー、スノーモービルに開放してはどうか。あんなに地平線が見えてカッコイイ風景は、日本の他の地域には無い。又、展望館は冬の間は何もやっていないが、天気の良い土・日・祝日などは、喫茶店だけでも営業したらどうか。 このアンケートの行き先が町の行財政改革推進係ということで一言。 町の始業時間を一般の会社と同じように朝8時にすればどうか。9時というのは遅すぎる。いや、8時45分ですとは言わないように。朝8時にすれば私の計算では、臨時職員も雇わなくていいし、職員も50人くらい減らせる。時間だけ見れば、普通、勤務時間は朝8時から夕方5時だと思えます。これに関しては誰も聖域のようにして、何も言わないのはどうしてか。オーストラリアのこともあり、酪農が無くなったら中標津も無くなるかもしれない。夕張や赤平を笑ってられるのも今だけだ。今から、切り詰めれるところは切り詰めてください。		
6	この度、アンケートをいただきましたが、眼が不自由で十分読み取ることができず、十分な回答が出来得なかったのではと思っています。 種々、町づくりのため活動されている会の皆様に敬意をすると共に、今後とも益々活躍され、よりよく発展されることをご祈念いたします。		
7	都市部で生活している若者がこちらに帰ってきやすい環境づくりをして欲しい。今のままだと、優秀な人材は全て都市部で活躍し、地元には何も残らない。現に今はそういう状況になってきている。		
8	何をするのか？何をしているのか？もっと情報を。		
9	パートナーシップというものをあまり知らず興味がありませんでした。 ただ、4月に頂いた『ゴミの分別辞典』は全てに目を通しリサイクルに努めています。関係なくて申し訳ありませんが、各僻地に設置されているリサイクル回収小屋はあまり活用されず残念。鉄も値上がりしているの、周りの人にもコツコツゴミの分別を勧めたりしています。コミュニケーションはなかなか皆仕事が忙しく合えませんが、たまに声を掛け合っておしゃべりを楽しんでいます。		
10	特に意見はありません。言っても何も変わらないことがわかるので。 中標津の人は基本的に冷たい人が多いです。行政で助け合いと言っても、そこまで働きかけがないので情報は入ってきません。ですから、まちづくりと言っても人と人の関わりが殆どなく協調性もないため無理だと思えます。もう少し町全体に活動しているならば情報を流すべきだと思いますし、行政も少しは融通がきくようにすべきだと思います。		

1 1	活動がすみずみの町民の目に止まる場所に全町民が、今、何を活動していて、こういった問題を解決しようとしているかなど色々な方面から知ることが出来るようなシステム作りをお願いしたい。(働いている。働いていないに関わらず。)
1 2	パートナーシップの意味が良くわからなかった。
1 3	4月に中標津に来たばかりですが、温かくよい地域性だと思います。行政と住民が一体となって進めるまちづくりは素晴らしいですが、どこかが中心となって働きかけないと、なかなか運営は難しいですね。住民の中のどこから人材を抽出するか、どうやって呼びかけるか、問題は多くあると思いますが、中標津をよりよくするため頑張ってくださいと思います。
1 4	中標津の嫌いなところでも書きましたが、空港へ着く途端に堆肥の匂いであっさりしたと言う人がずいぶん多くなりました。農業あつての町ですが？ 堆肥は積んで(生のうち)何ヶ月間おきに積み替えるだけで匂いもなくよい肥料が出来るのです。化学肥料も少なく環境にも良く肥料代も安上がり、もっと町も努力してほしい。
1 5	全てにおいてレベルの低い中標津町民が頑張ったところで何も変わらないと思います。まず、他を知らないし自分たちが一番だと思っているし、結局、閉鎖的な田舎なんですから。 町自体は大型スーパー(都会から見たら大型ではないがむしろ当然)東武やビックハウスなど、商業面で栄えているかのように見えますが、当然ではないですか。 むしろ、中標津町地元の企業よりも他の市からの企業やチェーン店を増やすべき。 こんな田舎で殿様商売していい気になっている町民の鼻の骨を折っていただきたい。食べ物は高い、サービスは悪い、そして、極めつけは非常に味が悪い。しかし、町民には味がわからないので、こんなこと言っても通じない。娯楽においても何も無い。カラオケ、ボーリングはバカみたいに高い。なめてますよね。ホント。中標津の良い所なんて緑が多いことくらい。 公共料金が高い。賃金安いくせに(まあ企業というか地元の企業が、いわば独占していて、殿様商売だから競争心が無い)水道代、ガス代が高い。 まちづくりとはズレているかもしれませんが、まちづくりなんて、ゴミ拾いと、テレビとかで見ますが、少年犯罪など、そういうことに気をつければよいのでは？ まずは何より、子供たちを守っていくことが大切だと思います。子供がいつも元気で無事でいてくれるなら何よりじゃないですか。 上記に書いたことは決して期待していませんし。しょせん田舎はいつまでたっても田舎です。緑と子供とお年寄りを大切にしましょう！！
1 6	良い企画です。積極的に推進してください。
1 7	中標津町を今よりもっと住みやすい町になるように、これからも頑張ってください！！
1 8	若い人が関心を持てるようなネーミングにした方が良くと思います。
1 9	挨拶の出来る人に全ての人になって欲しい。 マナーを守る人になって欲しい。
2 0	農家は、税金・学校給食等の支払いをきちんとしてるのに、町の人々の支払い率が低いと聞いている。不公平のない様しっかりとやって欲しい。
2 1	「パートナーシップ」という言葉がわかりにくい。地域課題とは、例えば何のことなのでしょうか。
2 2	北海道はとても自然を尊重している地域だと思います。 ただ、あまり伝統とか歴史とかを考へることがないので、本当の意味での我慢強さとか思いやりとか、やさしさとか、そういうことを生き方として家庭の中で伝えていけてないような気がします。ただ古いしきたりにとられることがないので、よけい家族の中で伝えられていることが少ないような気がするのです。それが良いこともあると思いますが、そういうことが離婚率の高さや母子家庭の多さにつながっているような気がします。 自分の主張をはっきりすることはもちろんとても大切だと思いますが、相手のことを思いやり相手の気持ちを考へることもとても大切だと思います。そういうことを少しずつ子供たちに伝えることが、これからの中標津の町づくりに必要なような気がします。

2 3	町民講座（サークル）の種類が少ないように思います。 また、受講料は高齢者にとっては負担は大きいと思いますので、補助をして頂ければと思います。 個人的にはパソコン講座を開いて欲しいです。
2 4	地域ごとに気軽に行ける（いきいきサロン）のような場所が欲しい。年齢、性別は問わずに寄る感覚のところがあればいいなと思う。
2 5	「中標津まちづくり交流広場」に行ってきました。ジュニアサミットだけ見学したのですが、いまいちでしたね。高校生にはもっと具体的な提案が欲しいと思いました。まあ、高校生なら仕方がないかな。
2 6	まちづくりを進める上で、住民のニーズを把握しながら方向性・方策を決めることは重要だと思います。故に、今回のように無作為抽出アンケートは良いことだと思います。
2 7	今回参加させていただいて、色んな思い出、色んな人たちが集まり、活動されていることが少しわかったような気がしました。 高齢者の実演をしている姿がいきいきしていて話しかけやすかった。
2 8	町民全体が興味を持って参加したくなるようなPRをもっとうまくやったほうが良いと思う。
2 9	私は昭和3年生まれですが、今は自分でできる仕事はしていますが、体が不自由になったら考えると不安です。 町でも色々やってくださっていますが、体の不自由な人の受け入れ態勢の良いところを議員さんの研修旅行の時に、視察をされて老人のために考えてくだされば大変助かります。
3 0	中標津町が根室内陸の中核都市と自負しているが、内陸の他の町からは、そのように認められていない面があるので、今後のまちづくりを進めるにあたっては、自分たちの町が良ければいいんだと思うのではなく、他の町にもその恩恵が共有されるような、内陸全域に配慮したまちづくりへの取り組みを進めるべき。
3 1	今どき、英語的な横文字がTVでも新聞でも多い。老人までもがわかるよう（ ）などで意味を示して欲しい。若者が卒業しても働く場所が少なく町を出て行く人口が減っても仕方ないのか。 町内会から出た町議さんも何年いてもさっぱり地域のために働いてくれた様子伺えず、イラ立ち、選んだ自分を責めるのみ。 道の駅とか作って、足湯があったり、土産物、食堂とか一休みしたりする（いこいの場）的などころがあれば楽しいかなと、ちなみに白糠にある恋問館は気に入ってる。

以上、アンケート集計結果



中標津町パートナーシップ推進研究会  
北海道企画振興部地域振興・計画局  
(中標津町総務部企画課行財政改革推進係)  
住 所：〒086 - 1197  
北海道標津郡中標津町丸山2丁目22番地  
電 話：0153 - 73 - 3111  
FAX：0153 - 73 - 5333  
(ホームページ) <http://www.nakashibetsu.jp/>